

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年4月20日)

- 平成29年中の高齢者交通事故防止対策事業の活動状況について
..... 1
(交通部交通企画課)

警 察 本 部

平成29年中の高齢者交通事故防止対策事業の活動状況について

平成30年4月20日
警察本部
(交通部交通企画課)

1 免許センター認知症等早期発見対応推進事業（平成27年12月開始）

(1) 事業の概要

平成27年12月1日から、県内3か所の運転免許センターに、非常勤職員として運転適性相談員（看護師）を配置し、認知症スクリーニング機器（鳥取大学医学部教授浦上克哉氏監修）を活用しながら、高齢運転者及び家族からの運転適性相談や出前型簡易検査、訪問調査を行い、高齢運転者等の交通事故防止を図るとともに、認知症等一定の病気等の早期発見・受診勧奨にも資するもの

※ 運転適性相談：一定の病気等に罹患した場合の運転の可否について相談する制度

(2) 運転適性相談員（看護師）

- 東部地区 20歳代 1人（元総合病院勤務）
- 中部地区 60歳代 1人（元総合病院・老人保健施設勤務）
- 西部地区 50歳代 1人（元総合病院・老人保健施設勤務）

(3) 活動実績（平成29年中・看護師が直接関与したもの）

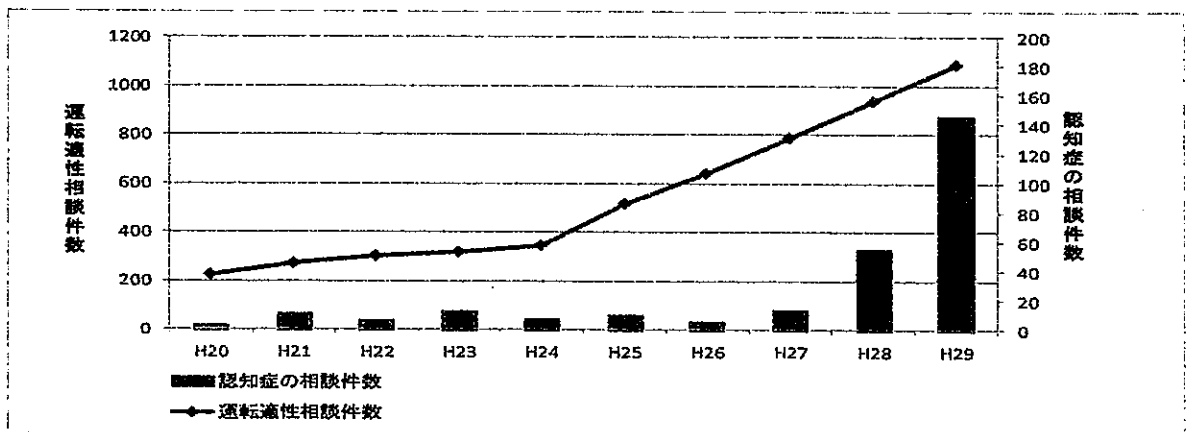
- 運転適性相談 516件
- 出前型簡易検査（交通安全講習） 29回
- 訪問調査 9件
- 申請取消（自主返納） 45件

※ 家族・本人からの相談を受け申請取消に至ったもの

(4) 事業の効果

- 運転適性相談の状況

年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
運転適性相談件数	222	273	303	315	344	514	640	786	935	1088
認知症の相談件数	2	10	6	12	7	9	5	13	54	145
認知症の相談件数の割合	0.9%	3.7%	2.0%	3.8%	2.0%	1.8%	0.8%	1.7%	5.8%	13.3%



- 効果的事例

福祉関係者から、「認知症と言われて、家で暴れたりしている。病院に行かないので家族も困っている。運転も続けているようだ。」旨の相談を受け、家族、自治体職員、病院関係者等と連携して自宅を訪問し受診を勧める等、継続した対応を行ったところ、病院を受診し入院となった。

運転免許は取消しとなったが、本人の治療につなげることができるとともに、家族の負担を軽減することができた。

(5) 反響

- いくら家族が説得しても、運転免許の返納に応じなかったが、プライドを傷つけない対応により、本人が納得の上、自主返納することができた。
- 看護師さんや免許センターに相談してよかった。

(6) その他（鳥取県との連携事業）

東・中・西部の各運転免許センターにおいて平成29年1月から、高齢運転者対象の交通安全教室「安全プラス65」を開催し看護師としての専門的知識を活かした講習を実施している。県知事部局が同教室受講者を対象に「衝突被害軽減ブレーキ」「車線逸脱警報」「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」のアシスト機能が装備された車両購入に際する助成を実施している。（1台あたり3万円・200台）

2 シルバー・セイフティ・インストラクター（平成19年4月開始）

(1) 事業の概要

鳥取・倉吉・米子警察署にシルバー・セイフティ・インストラクター（鳥取県警察高齢者交通安全教育指導員）を配置し、交通安全講習・高齢者訪問活動等の広報啓発活動を通じて高齢者の交通事故防止を図るもの

(2) シルバー・セイフティ・インストラクター

- 東部地区 60歳代 1人（警察OB）
- 中部地区 60歳代 1人（警察OB）
- 西部地区 60歳代 1人（警察OB）

(3) 活動内容

- 関係機関、団体等と連携した交通安全講習及び高齢者訪問活動
- 運転適性相談員と連携した交通安全講習の実施
- 参加・体験・実践型の交通安全講習の実施



スクリーニング機器を活用した講習状況

(4) 活動実績

ア 高齢者交通安全講習

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
実施回数	70	177	256	268	229	235	332	245	241	234
受講人数	2,955	7,894	7,954	8,480	8,434	7,964	11,277	11,323	8,835	10,775

イ 高齢者訪問活動

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
訪問人数	5,633	9,160	10,581	9,034	7,805	7,059	8,437	15,097	15,157	12,728

(5) 事業の効果・反響

- 交通安全講習の場で、同時に認知症検査や健康講話を受講することができ、非常に良かった。
- 自分も現在運転をしているので、認知症について気になっていたところであったが、検査結果が良く安心した。今後も安全運転には十分に気をつけていきたい。

3 今後の課題等

資機材の効果的活用、研修会・勉強会等を通じた職員のスキルアップ、自治体、福祉・医療関係者等との一層の連携強化等により、各事業の充実を図る。